

東京女子医科大学大学院医学研究科 博士課程

人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

医学研究科博士課程の到達すべきゴールとして、その専門分野における独創的研究によって、従来の学術水準に新しい知見を加え、文化の進展に寄与するとともに、研究を指導する能力と哲学を養うこと、さらに臨床医学においては、新しい医療技術の開発および高度な専門技術を修得すること、また共同先端生命医科学においては新しい医療機器や医薬品の開発・評価のための医療レギュラトリーサイエンスを指導する能力を養うことを目指している。

ディプロマ・ポリシー

医学及び医療の発展を先導および指導できる高度の研究能力と専攻分野の深い学識を身に体したものに学位を授与します。医学研究科博士課程においては、所定の単位を修得し、自身の研究成果の論文が審査で認証され、以下に示す成果を達成したと認められる者に、4年制の医学研究科の6専攻においては博士（医学）Ph.D.、3年制の共同先端生命医科学専攻においては博士（生命医科学）Ph.D.の学位が授与されます。

4年制の医学研究科の6専攻

- 1) 大学の理念である至誠と愛の精神をもって社会に貢献する研究を行う能力を示す成果
- 2) 科学的、倫理的に適正な先端的研究を計画、実施、発表する能力を示す成果
- 3) 研究者・教育者を育成する能力を示す成果

学位を授与するまでの年限は医学研究科は4年としますが、所定の学修を修了し特に優れた研究成果を公表した者については、研究科委員会で審査の上1年早く授与することがあります。

3年制の共同先端生命医科学専攻

- 1) 大学の理念である至誠と愛の精神をもって社会に貢献する研究を行う能力を示す成果
- 2) 医療レギュラトリーサイエンスを実践、指導する能力を示す成果
- 3) イノベーションを起こし定着させる能力を示す成果

カリキュラム・ポリシー

学生は専攻した領域の学修と研究、大学院共通の学修を通じて、それぞれの学修および研究計画に従って所定の期間にディプロマ・ポリシーを満たす学修を進めます。

4年制の医学研究科の6専攻では、自ら定めた課題を解明する科学的、倫理的に適正な先端的研究を計画、実施し論文として発表する過程を学び、社会に貢献する研究を行う力を修得します。第3学年では学位論文のための研究に関して公開で中間発表を行い評価とフィードバックを受けます。科学的視野をさらに広げ、主分野を補うための選択分野と大学院共通カリキュラムなどを履修し、至誠と愛の精神をもって社会に貢献する研究を行う能力および研究者・教育者を育成する能力を修得します。修了の要件として、基礎系の4専攻は合計30単位以上、臨床系の2専攻は合計32単位以上を修得する必要があります。

3年制の共同先端生命医科学専攻においては、医療レギュラトリーサイエンス、生命・医療倫理、生物統計、臨床研究、イノベーション先端医療、等に関する臨床医学の講義、実習、と演習、実習、体験見学を通じて学修し、実践と先導ができる能力を修得します。さらに自ら定めたレギュラトリーサイエンスに関わる課題について、研究を計画、実践し、博士論文として公表し、科学的、倫理的に適正な研究を計画、実施、発表する能力を獲得し、社会に

貢献する研究を進める能力を開発します。修了の要件として、合計30単位以上を修得する必要があります。

評価は科目毎に、観察評価、面接評価、学修報告書（レポート）評価により行われ、単位が認定されます。学位研究については、研究過程は年度毎の進捗報告、中間発表により評価され、研究成果は学位論文の審査により評価されます。学位論文は研究科委員会で審査し、学位授与に適合する成果を上げていることを評価します。

アドミッション・ポリシー

本学で学修するものは、本学の建学の精神と大学の理念を理解し、本学医学研究科が設置する4年制の6つの専攻（形態学系、機能学系、社会医学系、先端生命医科学系、内科系、外科系）と、早稲田大学と共同で設置する3年制の共同先端生命医科学専攻の7つの専攻のいずれかで、大学院のカリキュラム・ポリシーに沿って学修し、ディプロマ・ポリシーを満たすことのできる医学士もしくは修士の学位、またはそれに相当する教育研究の経歴と業績が認定されたものです。

医学研究科が求める入学者像は

- 1) 将来自立して教育研究を通じて社会に貢献する意欲を持つ人
- 2) 専門的な国際コミュニケーションを行う基礎となる英語力を持つ人
- 3) 専攻を希望する分野で探求する課題を持つ人

です。

入学志望者には、建学の精神と大学理念、研究テーマ、将来像について面接評価、および筆記試験による英語力評価が行われ、評価結果を総合して入学判定が行われます

東京女子医科大学大学院医学研究科(博士課程)概要

1. 修業年限

博士課程4年(特例として3年)

2. 学位授与

本大学院医学研究科に4年以上、特例として、優れた研究業績を上げた者については3年以上在学して所定の単位を修得し、学位論文の審査及び最終試験に合格した者には博士(医学)の学位を授与する。

3. 奨学生制度

学業・人物ともに優れ、かつ健康である学生に対して日本学生支援機構の貸与制度がある。

4. 組織及び内容と学生定員

各分野の研究テーマや詳細については、ホームページを参照のこと。

<http://www.twmu.ac.jp/univ/graduate/medical/field/>

専攻	分野	指導教員	入学定員	総定員
形態学系	神経分子形態学	藤枝 弘樹	5	20
	顕微解剖学・形態形成学			
	病態神経科学	柴田 亮行		
	実験病理学	小田 秀明		
	微生物学免疫学	柳澤 直子		
機能学系	神経生理学	宮田 麻理子	4	16
	分子細胞生理学	三谷 昌平		
	生化学	中村 史雄		
	薬理学	丸 義朗		
社会医学系	環境・産業医学	松岡 雅人	4	16
	公衆衛生学			
	法医学	木林 和彦		
	国際環境・熱帯医学	杉下 智彦		
	医学教育学	大久保 由美子		
内科系	呼吸器内科学	多賀谷 悦子	8	32
	内分泌内科学	市原 淳弘		
	糖尿病・代謝内科学	馬場園 哲也		
	腎臓内科学	新田 孝作		
	循環器内科学	萩原 誠久		
	消化器内科学	徳重 克年		
	脳神経内科学	北川 一夫		
	血液内科学	田中 淳司		
	膠原病リウマチ内科学	針谷 正祥		
	精神医学	西村 勝治		
	小児科学	永田 智		
	皮膚科学	石黒 直子		
	放射線腫瘍学	唐澤 久美子		
	医学物理学 ※医学物理士養成コース	西尾 禎治		
画像診断学・核医学	坂井 修二			

専攻	分野	指導教員	入学定員	総定員
外科系	呼吸器外科学	神崎 正人	10	40
	乳腺・内分泌・小児外科学	岡本 高宏		
	心臓血管外科学	新浪 博		
	重症心不全制御学	布田 伸一		
	消化器外科学	山本 雅一		
	脳神経外科学	川俣 貴一		
	整形外科	岡崎 賢		
	形成外科学	櫻井 裕之		
	眼科学	飯田 知弘		
	耳鼻咽喉科学	野中 学		
先端生命医科学系	産婦人科学	田畑 務	8	32
	麻酔科学			
	泌尿器科学	田邊 一成		
	歯科口腔外科学			
	救急医学	矢口 有乃		
	先端工学外科学	村垣 善浩		
	遺伝子医学	山本 俊至		
	代用臓器学	清水 達也		
再生医工学	大和 雅之			
統合医科学				
疾患モデル研究	本田 浩章			

令和元年7月現在

(備考) 指導教員の空欄は選考中。

令和2年度 東京女子医科大学大学院医学研究科学生募集要項

1. 医学研究科募集人員

令和元年7月現在

専攻名	分野名	募集人員
形態学系	神経分子形態学、顕微解剖学・形態形成学、病態神経科学、実験病理学、微生物学免疫学	5
機能学系	神経生理学、分子細胞生理学、生化学、薬理学	4
社会医学系	環境・産業医学、公衆衛生学、法医学、国際環境・熱帯医学、医学教育学	4
内科系	呼吸器内科学、内分泌内科学、糖尿病・代謝内科学、腎臓内科学、循環器内科学、消化器内科学、脳神経内科学、血液内科学、膠原病/リウマチ内科学、精神医学、小児科学、皮膚科学、放射線腫瘍学、医学物理学、画像診断学・核医学	8
外科系	呼吸器外科学、乳腺・内分泌・小児外科学、心臓血管外科学、重症心不全制御学、消化器外科学、脳神経外科学、整形外科学、形成外科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、産婦人科学、麻酔科学、泌尿器科学、歯科口腔外科学、救急医学	10
先端生命医科学系	先端工学外科学、遺伝子医学、代用臓器学、再生医工学、統合医科学、疾患モデル研究	8
入学志願者は専攻および主分野を選び入学志願票の所定欄に記入すること。		39

2. 入学資格

- 1) 医学部、歯学部、獣医学部または薬学部(6年制)を卒業した者および令和2年3月卒業見込みの者。
 - 2) 修士の学位や専門職学位を有する者。
 - 3) 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者。
 - 4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者。
 - 5) 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者。
 - 6) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者。
 - 7) 文部科学大臣が指定した者。
 - 8) 本大学院において個別の入学資格審査により、医学部、歯学部、獣医学部または薬学部(6年制)を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者。
- ※出願資格の7)8)に該当する方は、事前に資格の審査を行います。出願期間開始日の2ヶ月前までにお問い合わせください。
※本学教員の身分を有したまま本大学院へ在籍することはできないものとします。

3. 出願期間

前期：令和元年8月7日(水)より8月14日(水)午後4時まで
後期：令和2年2月5日(水)より2月12日(水)午後4時まで

4. 試験期日

前期：令和元年9月6日(金)午前8時45分までに試験場所に参集のこと。
後期：令和2年2月28日(金)午前8時45分までに試験場所に参集のこと。

5. 試験場所

東京都新宿区河田町8-1 東京女子医科大学 臨床講堂Ⅱ

6. 試験内容

- 1) 語学試験(午前9時00分から10時00分まで) 英語についての筆記試験を行う。
英和・和英辞書のみ持ち込み可。但し、医学用語事典、電子辞書等は不可。
- 2) 面接試験(午前10時20分から) 口答試問を行う。

7. 出願手続

入学志願者は次の書類を一括して提出すること。

1) 入学志願票 本学所定のもの。裏面の履歴書欄も記入すること。

(※) 2) 卒業(修了)証明書 または 卒業(修了)見込証明書 または 在学証明書

(※) 3) 成績証明書

(※) 学士・修士・博士等の学位を取得(見込み含む)した全課程の各証明書を提出してください。

(※) 卒業(修了)証明書と成績証明書が同一となっている証明書を両書類の代替とできます(成績・卒業証明書等)。

(※) 編入学者の場合は編入学前の成績証明書も提出してください。

(※) 日本国外の大学の卒業(修了)生の場合は学位取得証明書も提出してください。

(※) 中華人民共和国内の大学の卒業(修了)生の場合は18桁の番号が記載されている卒業(修了)証明書を提出してください。

(※) 中華人民共和国内の大学の卒業(修了)生の場合は卒業(修了)証明書、成績証明書の代替として中国学歴・学籍認証センター(日本代理機構を含む)で発行された学歴認証、成績認証(原本かつ英語版)を提出できます。

(※) 日本語または英語で発行されていない各証明書を提出する場合は翻訳文、翻訳文の内容を証明する公証印が押印された公証書(原本)も提出してください。

(※) 各証明書の原本を提出できない場合は各証明書の代替として各証明書のコピーに大学印が押印された書類を提出できます。

4) 写真 2 枚 出願日前3ヶ月以内に撮影したもの(カラー写真 タテ4cm×ヨコ3cm 2枚、上半身・正面・無帽・無背景・枠なし) 1枚は志願票に貼付のこと。もう1枚は裏面に氏名を記入し、その他書類と合わせて提出すること。

5) 入学検定料 30,000円(本学所定の振込用紙(本要項とじこみ)を使用し、1)に貼付)

(注意) ○出願前に、必ず当該分野の教授・講座主任又は大学院教授と、今後の研究・教育内容についての相談の上、志願票に捺印をもらうこと。

○出願手続後の志望変更は原則として認めない。又、提出した書類および検定料は返却しない。

○入学願書と各種証明書等の姓が異なる場合は、戸籍抄本を提出してください。

○郵送にて出願の際は必ず書留郵便とし、封筒表面に「大学院医学研究科入学願書在中」と朱記すること。受験票郵送を必要とする者は、切手392円分(簡易書留代)を同封すること。

○出願の際に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および検定料は返還しません。

8. 合格発表

前期：令和元年9月24日(火)午前10時

後期：令和2年3月16日(月)午前10時

・合格発表は、本学医学部 中央校舎1階玄関に掲示します。

・本学ホームページ上にも大学に掲示するものと同一の内容を公開します。

この案内は合否確認の補助手段ですので大学の掲示を正式な発表とします。

URL <http://www.twmu.ac.jp/univ/graduate/>

・電話やメールによる合否についての問い合わせには、一切応じられません。

9. 入学手続期間

前期：令和元年9月24日(火)より10月8日(火)午後4時まで

後期：令和2年3月16日(月)より3月30日(月)午後4時まで

詳細は合否結果通知書に同封される書類で確認してください。合否結果通知書は入学志願票に記載した住所に郵送されます。

10. 学費

種別	金額(単位:円)
入学金	310,000
授業料(年額)	350,000
実習費(年額)	500,000
計	1,160,000

◎本学卒業者の入学金は10万円とする。

◎授業料等の納入金は、休学中等の場合も原則として減免しない。

◎学生納付金の金額は、本要項作成後に改定されることがあるので、入学案内に記載する金額を納入すること。在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

11. 個人情報の取り扱いについて

出願および入学手続にあたって提出していただいた個人情報は、入学試験の実施・合格発表から入学手続、および入学後の修学指導・支援等、大学が必要と判断した事項を行うために利用します。これらの業務の一部を、東京女子医科大学が指定した業者に委託することがあります。

12. 受験・就学上の配慮

身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、冊子裏面の連絡先までお問合せください。また、大きな病気やけがのため、受験に支障をきたす恐れがある場合、あるいは出願後にそのような状態になった場合でも、速やかにお問合せください。

13. 入学辞退にともなう学費返還

一度提出した書類および納入した入学金、授業料、実習費は、原則として返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合や、入学までに入学資格を満たさなかった場合には、授業料・実習費のみ返還の対象となります。手続方法等、詳細については、冊子裏面の連絡先に問い合わせてください。

14. 外国人学生の在留資格(ビザ)に関する件

大学への入学を許可された外国人学生(日本の在留資格を有していない者)は、在留資格「留学」を申請する必要があります。

・大学への入学を目的として日本に入国するには、まず日本国内の法務省入国管理局に在留資格「留学」の「在留資格認定証明書(COE)」の交付申請を行います。所定の入学手続のうち、入学金・学費の振込が完了した外国籍者について、東京女子医科大学学務部医学部で代理申請を行います。「在留資格認定証明書」の審査には1-2か月の時間を要しますので、振込締切日にかかわらず、速やかに入学金・学費の振込を済ませ、早めに申請することを推奨します。

・「在留資格認定証明書」が交付されたら、申請者にお送りします。「在留資格認定証明書」の発行日から3か月以内に、居住国の日本国大使館・領事館でパスポートとともに提示して「留学」ビザ(査証)を取得し、渡日してください。

※在留資格「短期滞在」で滞在している者について

在留資格「短期滞在(観光)」(査証免除の場合も含む)で入国した場合、原則として日本国内で「留学」への在留資格を変更することは認められていません。一度出国し、日本以外の国の日本国大使館・領事館に在留資格認定証明書を提出し、留学ビザを取得してから再入国してください。

やむを得ない理由で、新学期までに再度、帰国が難しい場合等は、速やかに東京女子医科大学学務部医学部学務課までご相談ください。

※日本の在留資格を有している場合(日本に居住している者)

在留期限に応じた「在留期間更新許可申請」をご自身で行ってください。手続に関する詳細は、法務省のホームページを参照して下さい。在留期間更新は期間満了日の3か月前から当日まで申請できます。

15. その他

(注意) ○健康診断書は出願時には不要。

ただし、本入学試験合格者に対して入学手続の際に健康診断書(本学所定の用紙)の提出を要する。

○外国籍の出願者は、合格が決定した場合には速やかに留学ビザの取得が必要となりますので、取得に必要な手続きについては、事前によく確認しておくこと。

共同先端生命医科学専攻の入試要項(出願書類)については、
ホームページ(<http://www.jointbiomed.sci.waseda.ac.jp/>)よりダウンロードしてください。

他大学院から転入学を希望する場合の入試要項(出願書類)については、
ホームページ(<http://www.twmu.ac.jp/univ/graduate/medical/point.php>)よりダウンロードしてください。